

3.丸岡城(福井) 坂井市丸岡町霞町1-59

丸岡城が築かれたのは戦国時代の天正4年(1576)。一向一揆への備えとして織田信長の命により柴田勝家が甥の勝豊に築かせました。丸岡城を支える石垣は”野づら積み”の古い方式。独立式望楼型2重3階で、1階平面を天守台に余分を持たせて造られているため天守台を被せるような腰屋根が掛けられている最古の建築様式を持つ平山城で霞ヶ城の別名を持つ。建築当初は、屋根は柿葺き、木製漆塗りに金箔押し of 鯨であった。笏谷石を使った石瓦などが特長の北陸唯一の現存天守。なお、天守は近年の調査結果から、寛永年間(1624~1644)に建造されたとされています。(同パンフ)



天守と石垣



同城の特徴である石製の鯨と瓦



天守の内部



天守から見た街並み



三階づくりの説明版



同城のジオラマ